



ガンと
上手に
つきあ
いな
はれ

黒田清

Kiyoshi Kuroda

ガンと上手に
つきあいなはれ

Kiyoshi Kuroda

黒田清

徳間書店

[著者]

黒田清

ガンと上手につきあいはれ

第1刷 2000年10月31日

著者 黒田清

発行人 徳間康快

発行所 株式会社徳間書店

東京都港区東新橋1-1-16

郵便番号 105-8055

電話 代表 03 (3573) 0111

振替 00140-0-44392

編集担当／堤眞吾

印刷 大日本印刷株式会社

カバー印刷 真生印刷株式会社

製本所 大日製本印刷株式会社

©2000 KURODA Kiyosi Printed in Japan

乱丁・落丁はおとりかえします。

ISBN4-19-861243-9 C0095



99年7月24日、通天閣で始まった「平和のための大阪の戦争展」で呼びかけ人を代表してオープニングの挨拶をする



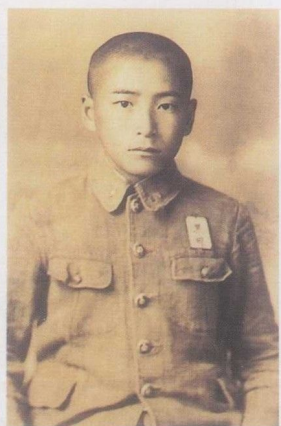
大阪読売新聞社会部長時代



山下清氏を取材する若かりしころの黒田氏（右のハンチング帽姿・1958年3月）



京都大学準硬式野球部時代（右端）



旧制高津中1年のころ



10周年パーティ

95年6月30日、戦争終結50年を前に黒田氏が発行する
「窓友新聞」の会員と沖縄へ。カチャーシーを披露した

パーティー





社会部長を努めていたころ(右も)

87年4月3日、黒田ジャーナル設立直後、
東京で開かれた励ます会で大谷昭宏氏と



97年4月26日、黒田ジャーナル

10周年記





96年1月、黒田ジャーナルのスタッフとカラオケに興じる

大阪毎日スポーツ連載「ニュースらいだー」3000回を記念したトークショーで（98年10月2日）





(上) 脾臓ガン手術後の98年1月8日、「窓友新聞」の会員らとともに過ごす

(左) 95年3月、阪神大震災で大きな被害を受けた神戸市長田区の菅原商店街を取材する

(下) 97年2月15日、「窓友新聞」の会員から贈られたパースディケーキを前にして





再入院前、窓友会の花見で（2000年4月8日）

ガ
ン
と
上
手
に
つ
き
あ
い
な
は
れ

目
次

第1章 ガンと上手につきあいなはれ

決闘・吹田が辻 16

あわれ私はすずめ寿司 21

マグロが腹切るヘイヘイホー 27

天使の心はナニ色か 33

ラッキーな患者 40

ナイアガラの滝へ 46

金魚すくいの誓い 52

ひと、死に出会う 58

まぼろしの遺書 64

指名打者が大活躍 70

手術中の息子との対話 76

一難去つてまた一難 82

ああ黒豆の雨が降る 88

院内感染とのせめぎ合い 94

退院許可は突然に 101

突如ガン子ちゃんが出現！ 107

サメも昆布もリンゴ酢も 114

フレーフレーNK砲 120

気がつけばたまち大好物 126

往く春や鳥啼き花見、同窓会 132

闘病に有利な仕事人間 138

静かな時間のすばらしさ 144

夏の陽を仰いで嬉し涙が 150

駅弁、毛蟹、甦る食欲 156

いまはただションベンだけの… 162

ボクのサドン・デス 168

わが病はタイガースとともに 175

入院するなら国立がお得 183

関ヶ原合戦近し 189

第2章 たくさんの血をありがとう

おなかに針を刺しながら 197

脾臓ガン摘出手術は成功しました 199

体重は15キロ減ったが怒りは新た 201

「明日の詩」^{うた}を唄って、さあ再出発です！ 204

春4月、桜の下で思うこと 206

秋の雲はせつないけれど…… 208

ガンからの生還者2人が乾杯！ 210

ガンと上手につきあわなくっちゃ 213

続・ガンと上手につきあわなくっちゃ

216

たくさんの血をありがとう

219

第3章 やめたらアカン

ジャーナリズムの暗闇照らす松明として

筑紫哲也

225

闘病記録

229

「ガンと上手につきあいなはれ」によせて 東峰重子（黒田清氏長女）

240

「医師として、家族として」 黒田雅人（黒田清氏次男）

244

「死ぬまで新聞記者だった」 大谷昭宏

250

